

## 第3章 各種調査結果からの主な現状と課題

### 統計調査結果

#### 【現状】

- 「0～14歳」「65歳以上」の人口が増加しています。
- 高齢化率は国や府よりも低く、平成22年では20.9%となっています。
- 独居高齢者や母子・父子家庭は年々増加しています。
- 障がい者手帳所持者は年々増加しています。

#### 【課題】

- 高齢者数の増加に伴い、福祉サービスの充実や生活課題に対する相談支援の体制整備が必要になります。
- 高齢者が地域で生きがいをもって自立した生活を送れるように、生きがいづくりや健康づくりができる機会の充実が必要です。
- 独居高齢者の増加により、地域での見守りや災害時支援の充実が必要です。
- 障がい者のそれぞれの状況にあった就労支援や社会参加への促進が必要です。

### 市民アンケート調査結果

#### 【現状】

- 日常生活での課題としては、健康や介護に対する関心が高くなっています。
- 生活する上での相談先としては、家族が多くなっており、市役所の窓口や社会福祉協議会などの公的機関が少なくなっています。
- 日常生活で手助けしてほしいこととしては、災害、犯罪・事故等非常時の手助けが多くなっています。また、手助けできることとしては、安否確認の声かけや家の前の掃除などが多くなっています。
- 地域住民が取り組むことができる課題や問題点としては、災害などの非常時の救助や救援、防犯など地域の安全を守ることが多くなっています。
- 地域における人との付き合いや地域との関わりについては、隣人との助けあいや付き合いを大切にしたいと思う人が多くなっています。
- 地域福祉に対する意識としては、地域福祉に関心はあるが特に何もしていない人が多くなっています。
- 災害時要配慮者支援制度の認知度は低くなっています。また、災害時の支援者としては、自治会、消防団、ボランティア団体が多くなっています。

## 市民アンケート調査結果（つづき）

### 【課題】

- 市民の健康や介護に対する意識の高まりから、市民ニーズに応じた健康教室の実施や福祉サービスの提供が必要です。
- 市役所の窓口や長岡京市社会福祉協議会などの公的機関の相談支援の活動PRを行い、市民からの相談を促進する必要があります。
- 災害時支援や防犯活動については、地域住民が手助けして欲しいことと手助けできることの双方ともに多くなっていることから、地域住民の実際の活動としてつなげていくことが必要です。
- 地域とのつながりを大切にする意識が高いことから、それらの人々がつながりをもてるような交流機会などの取組をすすめる必要があります。また、地域福祉に対して関心があるが活動として行っていない人が多いことから、地域で行われているボランティア活動の情報提供や活動の場の確保などを充実させる必要があります。
- 災害時の支援者として身近な組織への期待が高いことから、それら地域の各種機関や団体との連携を強化し、災害時の支援を強化していく必要があります。

## 団体アンケート調査結果

### 【現状】

- 地域活動を行う上で困ることとして、地域活動を行うための活動拠点や資金の確保などがあげられます。
- 地域活動を担う人材を増やしていくために必要なこととして、団体どうしの情報交換や活動PRの充実などがあげられます。
- 市民ニーズの把握方法や活動PR方法としては、広報や回覧などの様々な情報媒体を活用した情報提供や、市民との交流機会の活用などがあげられます。
- 地域活動を活性化するために必要なこととして、活動PRによる市民の意識向上や幼少期からの福祉教育の推進、自治会や地域コミュニティ※活動の活性化があげられます。

### 【課題】

- 地域活動している団体への活動支援として、助成金の充実や施設利用料の減免などの方策を検討する必要があります。
- 広報紙やホームページなどの様々な情報媒体を活用して、地域で活動している団体の周知や活動PRを行い、市民の参加を促進する必要があります。
- 市民の地域活動への意識向上のため、福祉の心を醸成する機会づくりや地域で活動している団体との交流機会の促進が必要です。

※コミュニティ…居住地域を同じくし、利害をともしにする共同社会。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会。

## 住民懇談会（ワークショップ）結果

### 【現 状】

- 高齢者の見守りや子育て家庭への支援として、地域での人とのつながりをつくる必要があるという意見がありました。
- 地域でのつながりづくりのため、子どもから高齢者まで幅広い人たちの交流機会の促進が必要という意見がありました。
- 地域の助けあいの仕組みをつくるためには、地域に密着している自治会の活用や活性化が必要という意見がありました。
- 地域でのつながりをつくるため、身近に集える場づくりなどの地域住民が集えるきっかけづくりや場づくりをすすめるという意見がありました。また、あいさつや声かけなどの地域住民が気軽にできることによるつながりづくりをすすめるという意見がありました。
- 自治会を活性化するため、自治会の活動PRや活動によるメリットづくりをすすめるという意見がありました。
- 行政としては、自治会等の地域で活動している団体の情報提供や、福祉会館をつくるなどの地域住民が交流できる環境整備をすすめるという意見がありました。

### 【課 題】

- 地域住民が交流できる機会づくりや場づくりをすすめ、地域コミュニティを形成する必要があります。
- 自治会などの地域で活動している団体の活動を活性化させるため、情報提供や活動PR、活動の場の確保が必要です。
- 支えあいによるまちづくりのため、地域住民の積極的な地域活動への参加が必要です。
- 行政と地域住民とが協働して地域の課題解決に取り組むため、まちづくりに対する市民参画の機会を充実させる必要があります。
- 「自助—互助—共助—公助」による役割の重要性を広く市民に伝え、協働によるまちづくりをすすめる必要があります。

## 企業アンケート調査結果

### 【現 状】

- 行っている地域福祉活動や企業の役割としては、環境美化活動が高くなっています。
- 今後、行おうと考えている活動については、全体的に回答が少なくなっています。
- 地域福祉活動の課題については、施設や人材に余裕がないことや事故補償があがっています。

### 【課 題】

- 企業に、企業周辺の環境美化以外の取組にも積極的に関わってもらえるように、地域福祉活動の意義や重要性を啓発し、地域福祉活動の促進を働きかける必要があります。